

# ■放課後子ども教室の概要

## 事業目的

すべての子どもを対象として、放課後や週末等に小学校の余裕教室等を活用し、安全安心な子どもの活動拠点（居場所）を設け、地域の方々の参画を得て、子どもたちに勉強やスポーツ・文化芸術活動、地域住民との交流活動等の機会を提供することにより、子どもたちが地域社会の中で、心豊かで健やかに育まれる環境づくりを推進する。

## 実施体制

### 都道府県（指定都市・中核市）

#### ■推進委員会の設置

【放課後対策の総合的なあり方を検討】

事業の実施方針・安全管理方策・広報活動方針・事業実施後の検証・評価など

#### 委員構成

行政・学校・社会教育・児童福祉関係者・学識経験者など

#### ■コーディネーター・安全管理員等の研修の実施

### 市町村

#### ■運営委員会の設置

【活動内容や運営方法などを検討】

事業計画の策定・活動プログラムの企画・人材確保方策・広報活動方針、安全管理方策、事業実施後の検証・評価など

#### 委員構成

行政・学校・社会教育・児童福祉関係者・PTA・事業関係者など

#### ■コーディネーターの配置・安全管理員等の研修の実施

#### ■放課後子ども教室の実施

### コーディネーター

学校や関係機関との連絡調整、人材確保、人員配置、活動プログラムの作成、保護者を含めた地域住民への参加の呼びかけなどを行う総合的な調整役

#### 委員構成

生涯学習インストラクターや民生委員・児童委員など

## 運営内容

### 学習アドバイザー

子どもたちの学習をサポートする

#### 人材

教職員を目指す大学生 / 退職教員  
社会教育団体 / 民間教育事業関係者  
地域住民等

### 安全管理員

子どもたちの安全管理を図る

#### 人材

●子どもたちの健全育成に情熱を持つ地域の方など

## 活動内容

### 学び

予習や復習補修などの学習活動

### 体験

スポーツや文化芸術活動など体験活動

### 交流

地域の大人や異年齢の子どもとの交流活動

### 遊び

剣玉やお手玉などの昔遊びや様々な遊び

## 実施場所

学校（余裕教室や図書室・体育館）・公民館など

## 補助内容

| 事業負担割合 | 市町村 |      |     | 指定都市・中核市 |          |
|--------|-----|------|-----|----------|----------|
|        | 国   | 都道府県 | 市町村 | 国        | 指定都市・中核市 |
|        | 1/3 | 1/3  | 1/3 | 1/3      | 2/3      |

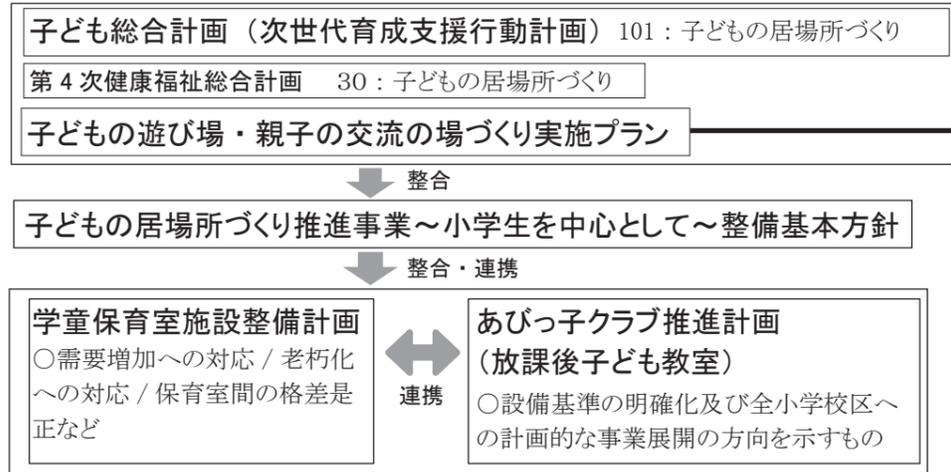
**指導員への謝礼** 1人1時間あたりの謝金としては、コーディネーターが1,480円/時、学習アドバイザーが1,380円/時、安全管理員が1,330円/時までが、補助の対象。市町村の負担で上限額を超える謝金の設定もできる。

**人員配置及び開設日数** 安全管理員など、人の配置については、各教室の実情に応じて必要な人数の配置ができ、それらすべてが補助の対象となる。年間を通じての開設が理想。何日以上開催しなければならないという制限はない。

**備品** 新規に教室を開設するにあたり、当該年度に限り、机やロッカーなど必要な備品を補助対象経費として整備することができる。

※子どもたちの実費相当分にあたる損害保険料や教材費、おやつや飲食物代、及び当該地方公共団体が認める、会議費以外の飲食物費や交際費は、補助の対象外。

## ■我孫子市における子どもの居場所づくり政策の体系化と計画策定（参考までに）



- |   |   |
|---|---|
| <p>I. 子どもたちが心豊かに、自分らしく育つまちづくり</p> <p>★基本方針：子どもの豊かな個性をはぐむ生活空間や機会の整備</p> <p>I-1. 安心してのびのびと遊べる環境づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○子どもの居場所づくり</li> <li>○自然環境保全しながら遊び場の整備</li> <li>○個性と魅力ある公園の整備</li> </ul> <p>I-2. 中高生が輝き活動できる場所づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○タウンスポーツ広場の整備</li> <li>○中高生の居場所の整備</li> <li>○子どもの交流拠点整備</li> </ul> | <p>II. 子育てに楽しみや喜びが感じられるまちづくり</p> <p>★基本方針：子育てに楽しみや喜びが感じられるまちづくり</p> <p>II-1. 子育て仲間づくりの場の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○子どもの場所・親子の交流の場の拡大拡充（つどいの広場）</li> <li>○青空保育（出前保育）の実施</li> </ul> <p>II-2. 身近な公園の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○身近な公園の整備</li> </ul> |
|---|---|

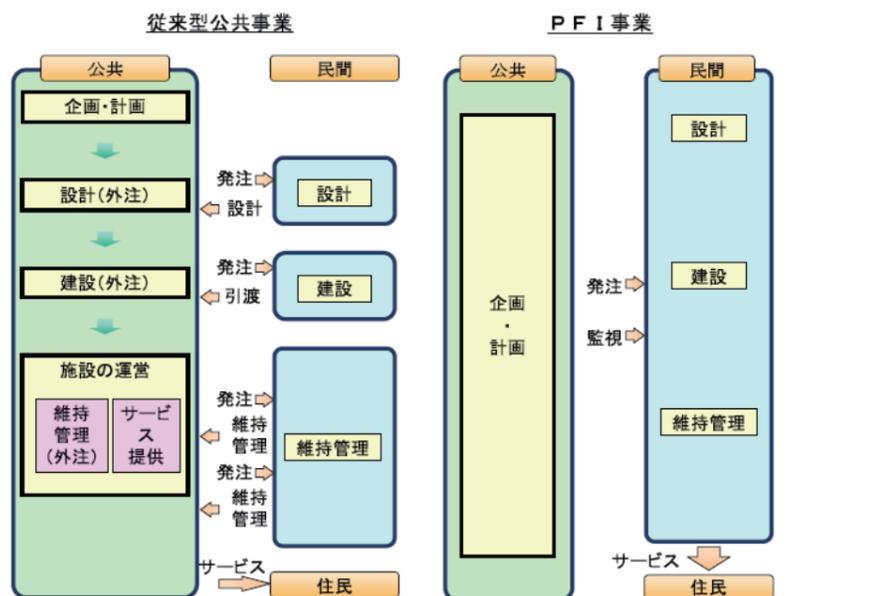
## 3. PFI事業の課題について

■PFI (Private Finance Initiative) とは・・・公共施設等の建設、維持管理、運営等に民間の資金、経営能力及び技術的能力を活用し社会資本整備を図る事業手法。

■PPP (Public Private Partnership) とは・・・パブリック・プライベート・パートナーシップ。公的部門による社会資本の整備・運営を公共と民間の協力により効率化しようという政策手法。PFI、指定管理者制度、民間委託、民営化、独立行政法人化などが含まれる。

### ■PFIの特色

(1) 一括発注、長期契約と性能発注（市が求める性能水準のみを規定した発注のこと。縛りが少ないほど民間の創意工夫の発揮が実現しやすくなると言われている。）を行うこと。



(注) 図は総務省の資料を活用。

(2) VFM (Value for Money) による評価を行うこと。

VFM (バリュー・フォー・マネー) とは、税金での支払い (Money) に対して最も価値の高いサービス (Value) を供給するという考え方のこと。従来の方式と比べてPFIの方が総事業費をどれだけ削減できるかを示す割合。

○ <公共サービス水準を同一に設定した場合のVFM>

公共が従来型の方法で実施する場合の事業期間全体を通じた公的財政負担の見込額の現在価値 (PSC: Public Sector Comparator) と、PFI事業として実施する場合の事業期間全体を通じた公的財政負担の見込額の現在価値 (PFI・LCC: Life Cycle Cost) の差額を用いて、次の計算式に基づいて表示。VFM (%) = (PSC - LCC) ÷ PSC × 100

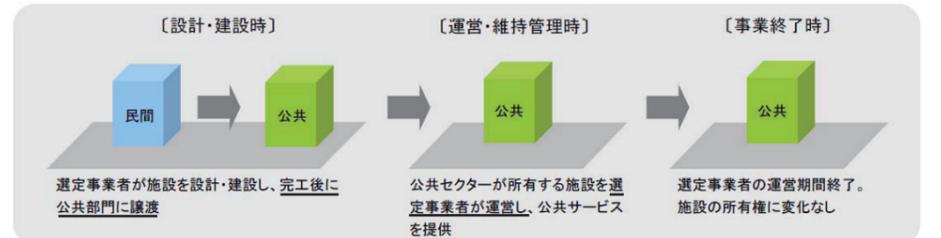
○ライフサイクルコスト

計画から、施設の設計、建設、維持管理、運営、修繕、事業終了までの事業全体にわたり必要なコストのこと。

(3) 所有形態別の類型

例: BTO方式

(Build (設計・建設) - Transfer (建物の所有者移転) - Operate (管理・運営)) 方式



(注) 絵は総務省の資料を活用。

※BT方式は、事業期間にO(管理運営)を含まないため、事業期間が短いのが特徴。基本的には、資金調達から設計・建設までを一括して民間事業者注文し、建設終了後、完成品を市が買い取る。